

2024年7月31日 意見交換会

ワークショップご意見まとめ 第1部 「町田市の公共施設再編と図書館の集約について」

	町田市の公共施設再編について
	<ul style="list-style-type: none"> ・財源不足は集約の理由にならない、なぜなら新設の予定があり(多数)。 ・老朽化問題と言うが、出来るあてのないモノレールにけるお金は？ ・魅力的な文化施設を作らなければ、人口はどんどん減ってしまう。 ・子どもが減るなら、対応して手厚い教育ができる仕組みを。 ・工芸館をさるびあと複合して、財源問題に対応。
Aグループ	図書館の集約について
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は歩いて行けるところにあるべき、アラートもあるし。 ・図書利用者、減ったなら増やす方法を考えるべき！ ・町田は三多摩でも図書費が最低、どうしてか？ ・図書館を充実させないと教育水準が下がってしまう。 ・移動図書館などもっと充実アピールして図書利用者開拓を。 ・来館者数、貸出数だけを見るのは”古い”のでは、魅力のある図書館とは。 ・図書館の機能は集約できないのではないか？(中央とさるびあ) ・さるびあ図書館の未来図はP.21なのか？なら、検討の余地はあるのか。 ・中央図書館とさるびあ図書館はそもそも機能が違うため、なぜ、集約なのか？ ・「集約」はムリ、サルビアと中央は機能が違う。 ・現在働いている職員はどうなるのか、雇用(任用)責任をどのように考えているのか？ ・旧空白地域をどのように考えているのか、南地域、集約するのであれば増もあり。 ・地域センター図書室を図書館へ再編した八王子市を見倣い配置を考えるべき。 ・集約前提の考え方そのものが間違っているのでは？図書館はたくさんあるべき。 ・工芸館をさるびあと複合にして財源問題に対応。 ・さるびあを建替え、他の施設との複合をつくる。 ・さるびあは学校との提携に大変重要、残すべき。 ・さるびあは移動図書館の基地である。 ・さるびあと中央は近くない、真夏に歩いてみよ！ ・”集約”ありき！住民の意見はどのように反映させるのか？図書館の方針を聞きたい。
	町田市の公共施設再編について
	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所やすみれ会館と複合化するべき。
Bグループ	図書館の集約について
	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの広報活動もない中、「さるびあ図書館集約」が知らされ、驚きの方が先です。2018年の請願のように残して欲しい、まず、第1の願いです。 ・さるびあ図書館、周辺の再開発との関連は説明いただけないのか。 ・集約は、さるびあ図書館がなくなることですか？ ・貸出数が減っているのは、資料費の減少によるので、視点が違う。 ・さるびあ図書館が存続の危機なんて、全く知りませんでした！一般市民にはほとんど知らせていないと思います。 ・さるびあと中央の集約を望まない人たちの集まりより、その集約の表現をどのように方向に活かそうとするのか。 ・中央図書館は「町田の顔」さるびあは「地域の市民の為に」 ・子ども図書館の構想提案をしていますが、市として検討されましたか？子ども図書館を作って欲しい。 ・残して欲しい、驚いた、請願のように残して欲しい。 ・さるびあ周辺の再開発の説明がない。 ・図書館は地域からなくなっては困る。 ・子どもの図書館としても、また、地域の資料館としても残して欲しい。

Cグループ	町田市の公共施設再編について
	<ul style="list-style-type: none"> ・さるびあ周辺の住民の意見をきちんと聞いて欲しい。 ・さるびあの近くの町内会などで集めた署名がどうなっているか知りたい。 ・中央より危ないところを通らないでよい。 ・1.6kmも離れている、徒歩で25分～30分かかる。夏なら倒れる。 ・クラウドファンディングでなおすお金を集める。 ・さるびあと中央をくっつける、中央にくっつけるんじゃないかと、中央をさるびあくっつけるといい。 ・さるびあの方が僕が思うには悪いところは少ないと思う、いいところも多いから。 ・これまで通りすべての機能を維持していくことはできません、ということばが重く響きます。
	図書館の集約について
	<ul style="list-style-type: none"> ・さるびあの良い、バス、忠三学区から近い、国語、6年の教科書について ・老朽化とあるが月に2回さるびあを使っていて、困ることは全くない。ベトナムなら雨漏りする。耐用年数は何年だろう。 ・予算がすくない、新しい本が少ない、魅力を自らなくしている。できると嬉しい。 ・昔お話会に保護者が入れなかったが、親も一緒に入れ、子どもと図書を共有 ・さるびあ図書館に来る方が近くの方とは限らない。他の図書館も学習室、多目的室を設けて欲しい。 ・さるびあ図書館はバリアフリーの点からすると仕方がないと思いました。 ・さるびあ悪いところ 新しい本少ない、いいところ 本とりやすい(ひくい)1対5 駐車場ある 移動図書館ある SLがある 家(住宅街)から近い ・家族4人で月80冊、年間980冊近くかりたこともある。駐車場があるからこれだけ借りられる。 ・学校図書館の支援、貸出はどうなるのでしょうか。 ・学校の授業で使う図書を短期間で揃えていただき、図書館の力を感じた。 ・学習室が広い、ゆっくり勉強できる。 ・地元の人だけでなく、市内各所から利用に来ている。 ・市民の心に残る図書館のふるさと、それがさるびあ図書館なのですね。 ・中央のわるいところ トラックが通っていてこわい。駐車場ない。いいところ 本がたくさんある。新しい本がある。

ワークショップご意見まとめ
第2部 「地域の未来世代に手渡したい公共サービスの姿」

Aグループ	<図書館に関するサービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	<p>(残したい価値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の自由宣言。 ・図書館の自由を守る。 ・誰でも気軽に本のことを質問できる専門家が居る。 ・情報を得ること、学ぶことがどんな人にも保証されている場としての図書館。 ・本と子どもをつなぐ専門職員の存在と育成。 ・学校図書館との連携強化。 ・町田の地域資料、町田の自由民権運動、(図書館のなりたち) ・高齢者が子どもと知識を共有できる場所。 <p>(新しい価値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書を歩行弱者が利用できるサービスも必要。 ・公共図書館・学校図書館のネットワーク構築。 ・図書館の空白地域をなくす、誰もが利用できる！ ・学校図書館を充実させて地域で利用も。
	<図書館以外の公共サービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	<p>(残したい価値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな社会状況の変化があっても生存が確保されるセイフティネットの構築。 ・高齢者支援センターもっこく館、利用者が少なくなっていますが、どうでしょうか？ ・生涯学習センターは前の公民館と同じように機能できているのか？ ・不登校者も家に居場所のない人も安心できる居場所。 <p>(新しい価値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共サービスについて市民意見を交えて決められる仕組みが欲しい。 ・町田市街地活性化、新宿、シモキタなどなど、魅力ある町づくりを進めている。町田は古い。
Bグループ	<図書館に関するサービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	<ul style="list-style-type: none"> ・さるびあは地域の宝、なくてはならないオアシス、街の文化を支えています。 <p>(ホッとできる空間、学校図書館とのネットワークある)</p> <p>(ヘルシンキ、町田と同等の市だが20館ある)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合施設を作って欲しい。 ・恥ずかしくない蔵書数、汚くない本。 ・読書、勉強ができる静かな落ち着いた場所。 ・各机にPCの設置(せめて電源、Wi-Fiの標準設置) ・公設公営でありつづけて欲しい。 ・成長の有機体であること=図書館であることが大切 ・資料は財産、それを管理、活用できる司書(専門職)が活躍できる図書館。 ・移動図書館-酷暑で休み、建物としての図書館を増やして欲しい！ ・公務員(公の人)の配置が宝。 ・すぐに本のことを相談できる人員配置を！ ・郷土の物語、紙芝居、郷土研究のできる地域の図書館であって、あたたかい図書館。 ・幼児用の絵本をず〜と気軽に貸し出しできるようになってほしい。
	<図書館以外の公共サービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	<ul style="list-style-type: none"> ・さるびあ図書館のある区域に文化の中心になるような複合施設を作る。(雑談コーナー、老若男女が集える場所、喫茶店、障がい者施設も入っている施設) ・多世代が交流できる場、文化を継承できる場が必要。

Cグループ	<p><図書館に関するサービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能</p>
	<p>(残したい機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い職員、司書の配置。 ・肉声での読み聞かせ、お話会の開催。お話会等は子育て支援としても残して欲しい。 ・未来の紙ベースの本は必要。 ・幼児から大人まで楽しめる場所。 ・お話会 耳から聞く語りは、大人も子どもも必要。 ・オーディオブックもあるお年寄りにもよい。 ・自転車や徒歩10～15分で子供から大人まで行ける公園や図書館がある。ほっとできるふるさと。 ・本屋が減っている、本を読む人も減っている。図書館、子どもの為になくすべきでない。一度なくすと再生できない。 <p>(新しい価値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市の過去・今・未来をタイムスリップできる映像コーナー。世界の今を空間を超えて体験できるコーナー。 ・新しい図書館が話題になっていますが、将来は町田市にも美しい誰もが行ってみたいくなる図書館を作ってい欲しい。 ・大和市立図書館シリウスのようないろんな施設が複合した、一日中居られるような図書館が欲しい。 ・図書館が地域の子どもの頭脳を育てるセンターに。 ・まあちのように中高生が立ち寄れる施設。 ・図書館だけでなく、市民サービス(市民センター、公民館、体育館)と一緒にする等にする。 ・親が本を借りてるときに遊べるスペース。 ・ワークショップ(工作)(ぜいきんでむりょう)(まい週) ・AI(人工知能)がしつもんしてこたえるといい本が見つかるきのうがつかされた本のけんさくき。 ・紙の本 図書館にあってほしいもの。 ・2040年には本は紙じゃないかもしれない、じゃあ紙の本はどうなるのかがしんぱい。だから図書館がなくなるかもしれない。
	<p><図書館以外の公共サービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・シバヒロ、芹が谷 芝生と木陰のある公園⇒子どももお年寄りも集える。 ・大人も行ける大人センター(まあちの大人版) ・学校、病院、広場、薬局、図書館、こどもセンター、水素自動車、電気自動車の補給所、2040年にあってほしいこうきょうしせつ。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際工芸美術館いらない。 ・今、民間に委託してしまう傾向があるが、文化施設として本当にそれで良いのか。 	